

・三位一体主日

# 泉のほとり

今月の詩編 「第二十四編」

地とそこに満ちるもの

世界とそこに住むものは、主のもの。



## 神の霊は激しく降る

今日はペンテコステです。神さまの霊、聖霊が降つて、教会が誕生しました。でも、聖霊が降ると、どうなるのでしょうか。聖霊は何をしておられるのでしょうか。

この日、弟子たちは皆で一つの場所に集まっています。弟子たちは、復活された主イエスが天にお帰りになられて、力弱くなっていました。そこに聖霊が降つたのです。

突然、激しい風のような音が天から聞こえ、炎のような舌が分かれ分かれに現れて、一人ひとりの上にとどまりました。すると、皆が他の国の言葉で話し出したのです。弟子たちが勉強して、他の国の言葉を知っていたからではありません。神さまが働かれたからです。

この物音に、あらゆる国からエルサレムに帰っていたユダヤ人たちが集まってきた、驚きました。でも驚いたのは、ガリラヤ出身である弟子たちが、違う国の言葉で話しているからではなくて、違う言葉であるにも関わらず、同じ神さまの大きな御業を語っていたからなのです。

聖霊を与えられるというと、奇跡が起きたり、あるいはまるで幽霊のように思つて、不思議なことが起こるのではないかと思うかもしれません。でもこの日、一番はじめに聖霊が弟子たちに与えられて起きたことは、神さまの御業を語るようになったことなのです。

この後ペトロは説教で、主イエス・キリストが十字架につけられ、殺され、甦らされたこと、そして、神

さまがこの主イエスを救い主とされたことを語りました。

神さまの御業を語るといふのは、難しい話をするころではありません。主イエスこそわたしの救い主、あなたの救い主と語り続けることです。これが、教会の一番はじめに起きたことで、教会にとつて最も大切なことでした。

でも時々、主イエスは救い主と言うことができなくなってしまう。病気になるったり、問題が解決しないで、苦しいことが起きたりすると、主が救い主でも役に立たないと思つて、主イエスは救い主と言えなくなってしまうのです。

その時聖霊は、わたしたちが神の子だと証し続けていてくださいます。あなたの最も大事な友人のように、あなたは神の子だと、言い聞かせてくれていてくれるのです。そして聖霊は、呻いて祈っていてくださいます。呻いているのは、わたしたちの祈りがそうだからです。一番祈りが必要な時は、一番祈れない時で、言葉にできずに呻いているしかできないからです。

最初に教会に聖霊が与えられたとき、聖霊は激しい風のような音で降ってきました。激しい風です。そよ風ではいけないのです。聖霊は激しく吹いて、わたしたちの不信仰で、力弱く、いつもぐずぐず言ってしまう思いを吹き飛ばします。聖霊は、力強く迫ってきます。でも、わたしたちのことを深く心にかけて、励まし続けていてくださいます。

詩篇 第二十三篇（協会共同訳）

一 賛歌。ダビデの詩。

主は私の羊飼ひ。

私は乏しいことがない。

二 主は私を緑の野に伏させ

憩いの汀に伴われる。

三 主は私の魂を生き返らせ

御名にふさわしく、正しい道へと導かれる。

四 たとえ死の陰の谷を歩むとも

私は災いを恐れない。

あなたは私と共におられ

あなたの鞭と杖が私を慰める。

五 私を苦しめる者の前で

あなたは私に食卓を整えられる。

私の頭に油を注ぎ私の杯を満たされる。

六 命あるかぎり

恵みと慈しみが私を追う。

私は主の家に住もう日の続くかぎり。

詩篇 第二十三篇（新改訳2017）

ダビデの賛歌。

一 主は私の羊飼ひ。

私は乏しいことはありません。

二 主は私を緑の牧場に伏させ

いこいのみぎわに伴われます。

三 主は私のたましいを生き返らせ

御名のゆえに私を義の道に導かれます。

四 たとえ死の陰の谷を歩むとしても

私はわざわいを恐れませんが、

あなたがともにおられますから。

あなたのむちとあなたの杖

それが私の慰めです。

五 私の敵をよそにあなたは私の前に食卓を整え

頭に香油を注いでくださいます。

私の杯はあふれています。

六 まことに私のいのちの日の限り

いづくしみと恵みが私を追って来るでしょう。

私はいつまでも主の家に住まいます。

今日のお知らせ

○二〇二二年年度の教会員名簿ができました。ひと家庭に一冊ずつ状差へ配布しました。

○今年度の避難訓練も文書で行うこととしました。避難訓練の概要を状差に配布しましたのでご覧ください。

○今週十七日(金)に、附属幼稚園のおゆうぎ会が礼拝堂で行われます。

○今回は三面に新共同訳聖書も掲載していますので、ご活用ください。

詩篇 第二十三篇 (新共同訳)

一 賛歌。ダビデの詩。

主は羊飼ひ、わたしには何も欠けることがない。

二 主はわたしを青草の原に休ませ

憩いの水のほとりに伴ひ

三 魂を生き返らせてくださる。

主は御名にふさわしく

わたしを正しい道に導かれる。

四 死の陰の谷を行くときも

わたしは災いを恐れない。

あなたがわたしと共にいてくださる。

あなたの杖

それがわたしを力づける。

五 わたしを苦しめる者を前にしても

あなたはわたしに食卓を整えてくださる。

わたしの頭に香油を注ぎ

わたしの杯を溢れさせてくださる。

六 命のある限り

恵みと慈しみはいつもわたしを追う。

主の家にわたしは帰り

生涯、そこにとどまるであろう。



次週礼拝

● 第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃1 363番 讃2 409番

説教 「話さずにはいられない」

聖書 使徒4章13〜31節

説教者 菊池美穂子 副牧師

● 第二礼拝 (午前11時)

讃美歌 500番 334番

説教 「人の内側が本当の自分」

聖書 マタイ23章23〜28節

説教者 黄允湜 牧師



## 第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21 363番 讃21 409番  
説教 「乳と蜜の流れる地を」  
聖書 民数記14章6～9節(旧約P235)  
司式 菊池 美穂子 副牧師  
聖餐司式 黄 允湜 牧師・菊池 美穂子 副牧師  
説教者 宮間 彰広 兄

前奏曲「愛しまつる主よ、我らここにいます」

J.G.ヴァルター

○ 讃美歌21 363番

1. み神の力は 山を起し 海原を広げ 空を造る。

深い知恵により 日は輝き 月は照りわたり 星もめぐる

3. 花も木も示す 主のみ栄え。 雨雲も風も主に従う。

すべてのもの皆 みむねにより

造られ守られ ここに生きる。

アーメン

○ 讃美歌21 409番(1, 3番)

1. すくいの道を 開いたイエスを

いしずえとして はじめられ

すくいのおさを 受けついできた

主の教会は ただひとつ。

3. おわりのときが せまるにつれて

世のなみかぜは さわいでも

み国をもとめ 主を待ちのぞむ

主の教会は ただひとつ

アーメン

聖餐曲「レシの対話」 L.N.クランボー

後奏曲「神よ、我らあなたをたたえます」 L.スミス

## 第二礼拝 (午前11時)

讃美歌 499番 239番  
説教 「なんと不幸か、見えない案内人」  
聖書 マタイ23章13～22節(新約P45)  
司式 菊池 美穂子 副牧師  
聖餐司式 黄 允湜 牧師・菊池 美穂子 副牧師  
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「いと高きにある神にのみ栄光あれ」 J.S.バッハ

○ 讃美歌499番(1, 4番)

○ 讃美歌239番(1, 4番)

聖餐曲「レシの対話」 L.N.クランボー

後奏曲「神よ、我らあなたをたたえます」 L.スミス

※ 礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。